

おいらせ町自治基本条例策定委員会（第3回） 委員意見の整理

〔要約〕

- おいらせ町には良い所がある。
- おいらせ町には良くない所もある。
- おいらせ町をもっと良い町にしたい。
- おいらせ町をもっと良い町にするためには、住民と行政が活動する必要がある。
- おいらせ町では、住民がすでに活動している。
- 住民の活動を増やしたり改善したりする余地もある。
- 町を良くするために住民が活動するのなら、行政は何をするのか。
- 行政は、住民の活動を補完し、支援する。
- 住民と行政がそれぞれの役割をうまく果たすために、必要なことがある。

《おいらせ町には良い所がある》

- おいらせ町の自然豊かなのんびりしたところが好き
- おいらせ町の魅力は、古くからある農村・漁業地帯とベッドタウンのような新しい地域が共存していること。特に、新しい人の流入が盛ん。国際交流も盛ん
- 他の町にはないわが町自慢を発掘して育てていこう

《おいらせ町には良くない所もある》

- ゴミが多い
- ゴミのポイ捨てが多い
- 決められた日にゴミを出さない、分別がめちゃくちゃ、記名しない
- ペットの飼育・管理（犬、フン）
- 児童・生徒に関係があると考えられる様々な問題が起きている
- 困っていることは眼科などの医療施設が近くにないこと
- 町税の滞納が6億円もある
- 町のカラーがはっきりしない？

《おいらせ町をもっと良い町にしたい》

- 「みんなが生き生きと暮らせる」おいらせ町になることを願う。豊かな自然を守る、安全で安心して暮らせる、夢が持て、成長できる、活気がある
- 子育ての環境をよい方向に向かわせたい
- 安心して暮らせるまち
- おいらせ町に入る道路脇等に花や木、旗、アーチなどを設置し、明るい町のイメージを与える
- おいらせ町民同士が触れ合える環境があってもいいのでは

- 世代間・地域間の交流を復活させて融和のとれた町を作る
- どのような町であってほしいのか、町の将来像を明確にする

《おいらせ町をもっと良い町にするためには、住民と行政が活動する必要がある》

- 行政と町民が話し合い共同でやっていくことが大切
- 行政・住民の役割分担を明確に

《おいらせ町では、住民がすでに活動している》

- 町には、PTAをはじめ、たくさんの団体がある
- 奥入瀬川クリーン運動や、各町内・各学校の環境整備・ゴミ拾い・花いっぱい運動等、一生懸命やっている
- 県内でも有数のコミュニティ活動が盛んな地域

《住民の活動を増やしたり改善したりする余地もある》

- うちのお祖父さんのように、歩いていて普通にゴミを拾える人が増えたらいい
- 奉仕活動に小学生・中学生・高校生や町民、特にシルバー世代が参加してほしい
- 地域コミュニティー活動、清掃活動、子どもの育成と保護、通学路除雪管理、自然保護、公共施設管理、イベント開催における行政と住民の役割、防災・災害の際の行政と住民の役割、郷土で芸能、伝統芸能保存のための取り組み
- 児童福祉・老人福祉について、家庭である程度解決できる問題をも行政の問題と捉え苦情という形で訴えにくる傾向にある
- 住民が行政に任せすぎ？
- PTAなどの組織の役割を見直し、それぞれにうまくつながりを持たせ、たくさんの住民が参加できる町に
- 各機関を結びつけるコーディネート力と住民全体の意識の向上が必要

《町を良くするために住民が活動するのなら、行政は何をするのか》

- 役場の本来の業務は何か。どこまで関わればよいのか。住民自治・協働を進めたら、役場の存在は何の意味があるのか
- 行政ってどこまでやればいいのか？

《行政は、住民の活動を補完し、支援する》

- 「自分たちの問題は自分たちで解決する」のが基本。足りないものを補い合う。それでもできないものを公共が補う（助ける）。そのためには住民が活発に活動できる環境づくりが必要。実際に活動する場所（ハード面）と活動に必要な物資（ソフト面）を援助する

《住民と行政がそれぞれの役割をうまく果たすために、必要なことがある》

〔行政と住民の情報共有〕

- 事業の優先順位の決め方を公表、情報開示
- 払った税金の使い道、借金の額、行われた事業、その効果、住民の満足度、来年度優先する事業などを住民に知らせる
- 「自分の財布なら」の感覚を持とう
- どれだけの人が町のことを考えているの？
- 自分たちの抱えている問題や町が抱えている課題をできるだけ共有
- 町民と自治体職員の意見交換の場がもっと必要
- 役場職員と町民がお互いに情報交換をして信頼関係を築く
- 町職員の居住地域活動への参加

〔行政の住民への関わり方〕

- 個人にお金を出す連絡員制度を改め、町内会に金を出し、使い方は任せる

〔行政のあり方〕

- 事業をやめる。時限事業・単発事業もやる。予算編成は起債を使わずに。予算は効率的に編成し、繰り越してもいいように
- イベントの統合
- イベントが多すぎ？

〔自治基本条例〕

- 住民と行政の共同の町づくりのために、自治基本条例が必要
- 家庭、地域、自治体のよりよい関係をつくるために、家庭について何らかの条文を入れたい
- なくさずに受け継いでいきたいことを、自治基本条例の条文に盛り込みたい